

【真駒内・藻岩下地区版】 令和4年6月～9月の活動から

生活支援ボランティア養成講座を開催しました

人生100年時代『我が事(わがごと)』『地域事(ちいきごと)』講座

真駒内地区(7月12日開催)



— 支え合いづくりのキーワード —

「担い手」の
発掘・育成



藻岩下地区(8月2日開催)

令和4年7月12日に真駒内総合福祉センター、8月2日に藻岩下地区会館で、真駒内、藻岩下の各地区を対象とする生活支援ボランティア養成講座を開催しました。少子高齢化が進み、近隣同士、高齢者同士の助け合いが必要となる中、人生100年時代を背景に、明治安田生命、地域で活躍するNPO法人と連携し、担い手が増えていくよう、そのきっかけづくりの講座としました。

生活支援体制整備事業により、地域での支え合いづくりを推進している状況を踏まえ、明治安田生命のエンディングノートの話を通じ、これからの人生について考えてもらう機会とし、誰かのため、自分のために、「何か助け合いを始めてみたい」と思った時、地域に、どんな場所・活動があるかについて、NPO法人の実践、区社協がかかわっている南区におけるボランティア活動の2つの観点から、紹介する形で進行。NPO法人の実践は、真駒内地区は、たすけあいワーカーズさくらんぼの理事・齊藤佳代子氏、藻岩下地区は、さっぽろ福祉支援ネットあいなびの理事長・下川原清美氏に講師をお願いし、法人の歩み、有償サービス・制度外による生活支援、サロンなどの支え合いについてお話をいただきました。

アンケート集計からは、両地区とも、回答者の70%以上から「身近なボランティア(支え合い)活動に関心が持てた」、45%以上から「ボランティアや支え合い活動に参加したいとの意識が高まった」との心強い回答をいただき、『支え合い』を考えてもらうきっかけづくりにつながったのではないかと感じています。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

「人生100年時代」

誰かのため、
自分のためにできること
その一つとして『支え合い』!



五輪くらぶ訪問

6月19日には、老人クラブ「五輪くらぶ」の例会で、生活支援体制整備事業を紹介させていただくとともに、クラブの状況や普段の取り組みを教えてもらいました。

UR五輪団地には、10月から生活支援アドバイザーが配置されるとのことで、今後、支え合いづくりに向けて一緒に連携していければと考えております。



【発行・お問い合わせ先】

札幌市南区社会福祉協議会 南区第3エリア(真駒内・藻岩下地区)担当 生活支援推進員 阿部めぐみ

〒005-8612 札幌市南区真駒内幸町2丁目2-1 南区役所3階 TEL (011)582-2415 FAX (011)582-7370